

大津皇子の薨りましし後に、大伯皇女の伊勢の斎宮より京に上りし時に作りませる歌二首

神風乃	伊勢能國専母	有益乎	奈何可來計武	君毛不有専
神風の	伊勢の国にも	あらましを	何しか來けむ	君もあらなくに
かむかぜの	いせのくににも	あらましを	なにしかきけむ	きみもあらなくに
神風の吹く	伊勢の国に	いたほうがよかつた	何をしに來たのか	君はもういないので

万葉集
卷二 163
大伯皇女

<https://kochi-esc.sakura.ne.jp/wordpress/%e4%b8%87%e8%91%89%e3%81%ae%e5%9c%b0%e5%ad%a6/>